



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月29日

上場会社名 日本車輛製造株式会社
 コード番号 7102 URL <https://www.n-sharyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五十嵐 一弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 深谷 道一
 四半期報告書提出予定日 2020年2月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 TEL 052-882-3316

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	67,506	19.7	5,053	10.2	5,251	13.3	3,757	35.2
2019年3月期第3四半期	56,414	18.9	5,628	26.8	6,058	24.6	5,797	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,561百万円 (37.1%) 2019年3月期第3四半期 5,665百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	260.30	
2019年3月期第3四半期	401.67	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	130,266	36,002	27.5
2019年3月期	134,194	32,446	24.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 35,874百万円 2019年3月期 32,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	2.0	5,300	37.6	5,500	37.9	4,100	55.4	284.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	14,675,012 株	2019年3月期	14,675,012 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	241,608 株	2019年3月期	241,136 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	14,433,660 株	2019年3月期3Q	14,434,140 株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2020年3月期の個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	2.0	5,500	△33.2	8,500	△5.4	588.87

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、各種政策の効果などにより雇用を中心に回復の傾向が見られますが、アジアなど海外景気の減速などにより生産、輸出に弱さが見られます。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、鉄道車両事業の売上が増加したことなどにより、売上高は前年同四半期比19.7%増加の67,506百万円となりました。利益面につきましては、鉄道車両事業の利益が増加した一方、輸送用機器・鉄構事業の利益が減少したことなどにより、営業利益は前年同四半期比10.2%減少の5,053百万円、経常利益は前年同四半期比13.3%減少の5,251百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、米国子会社における工場売却の決定に伴い減損損失を計上したことなどにより、前年同四半期比35.2%減少の3,757百万円となりました。

セグメント別状況は以下のとおりであります。

①鉄道車両事業

JR東海向けおよびJR西日本向けN700A新幹線電車、JR東海向けハイブリッド方式特急車両試験走行車のほか、東京メトロ向け電車、京成電鉄向け電車、新京成電鉄向け電車、名古屋鉄道向け電車、インドネシア向け電車などの売上があり、前年同四半期に比して国内向け・海外向けともに増加したことなどから、鉄道車両事業の売上高は、30,951百万円となり、前年同四半期比63.3%増加となりました。

②輸送用機器・鉄構事業

輸送用機器におきましては、タンク貨車、キャリヤなどの売上が前年同四半期に比して増加したことなどから、売上高6,525百万円と前年同四半期比33.8%増加となりました。

鉄構におきましては、福岡高速6号線香椎浜高架橋、関西本線春田跨線橋架設工事、東海道新幹線大規模改修工事などの売上がありましたが、官公庁向けの道路橋が減少したことなどから、売上高は9,188百万円と前年同四半期比10.2%減少となりました。

以上の結果、輸送用機器・鉄構事業の売上高は15,713百万円と前年同四半期比4.0%増加となりました。

③建設機械事業

東日本大震災復興工事や都市再開発工事の需要などにより、全回転チュービング装置、大型杭打機、小型杭打機などの売上が引き続き高い水準となりましたが、前年同四半期には及ばず、建設機械事業の売上高は17,826百万円と前年同四半期比4.2%減少となりました。

④エンジニアリング事業

鉄道事業者向け車両検修設備のほか、各地のJA向け営農プラント、家庭紙メーカー向け製造設備などの売上がありましたが、前年同四半期に比して製紙関連設備が減少したことなどにより、エンジニアリング事業の売上高は、2,890百万円となり、前年同四半期比20.4%減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

前期末に比べ2.9%減少し130,266百万円となりました。これは、全事業で回収が進捗したため受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

②負債

前期末に比べ7.4%減少し94,264百万円となりました。これは、鉄道車両事業および輸送用機器・鉄構事業に係る支払手形及び買掛金や、鉄道車両事業に係る前受金が減少したことなどによるものであります。

③純資産

前期末に比べ11.0%増加し36,002百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したため利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想につきましては、前回発表(2019年10月25日付)の通期の予想値を以下のとおり修正することといたしました。

本日公表いたしました「2020年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、売上高は、連結・個別ともに建設機械事業が堅調に推移していることなどから増加する見通しです。連結・個別の営業利益および経常利益は、売上高が増加することや、各事業において利益率が向上していることなどから、増加する見通しです。

連結の親会社株主に帰属する当期純利益は、2019年11月22日に公表しました「減損損失ならびに個別決算における関係会社貸倒引当金戻入額の計上の見込みに関するお知らせ」のとおり第3四半期より減損損失を計上した一方で、経常利益の増加見込額が減損損失を上回ることから、増加する見通しです。

個別の当期純利益は、経常利益が増加することや、本日公表の「個別決算における関係会社貸倒引当金戻入額の計上に関するお知らせ」のとおり関係会社貸倒引当金戻入額を第3四半期で追加計上したことから、増加する見通しです。

[2020年3月期 通期(2019年4月1日～2020年3月31日) 連結業績予想]

(単位:百万円 %)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想	91,000	3,800	4,000	3,700
今回発表予想	93,000	5,300	5,500	4,100
増減額	2,000	1,500	1,500	400
増減率(%)	2.2	39.5	37.5	10.8
ご参考 前期実績(2019年3月期)	91,179	8,499	8,862	9,198

[2020年3月期 通期(2019年4月1日～2020年3月31日) 個別業績予想]

(単位:百万円 %)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想	89,000	3,900	5,500
今回発表予想	91,000	5,500	8,500
増減額	2,000	1,600	3,000
増減率(%)	2.2	41.0	54.5
ご参考 前期実績(2019年3月期)	89,211	8,239	8,982

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,523	5,449
受取手形及び売掛金	27,355	21,723
電子記録債権	1,535	1,985
商品及び製品	1,526	1,533
半製品	1,143	1,192
仕掛品	27,533	28,086
原材料及び貯蔵品	1,280	1,479
その他	9,146	8,950
貸倒引当金	△45	△14
流動資産合計	75,000	70,386
固定資産		
有形固定資産		
土地	14,971	14,756
その他(純額)	13,442	14,492
有形固定資産合計	28,413	29,248
無形固定資産		
	855	711
投資その他の資産		
投資有価証券	21,157	21,342
退職給付に係る資産	7,910	7,875
その他	884	719
貸倒引当金	△26	△18
投資その他の資産合計	29,925	29,919
固定資産合計	59,194	59,880
資産合計	134,194	130,266
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,513	8,143
電子記録債務	10,694	10,355
1年内返済予定の長期借入金	295	406
未払法人税等	537	34
前受金	4,280	790
賞与引当金	1,796	899
工事損失引当金	175	156
受注損失引当金	1,837	900
その他	8,166	7,412
流動負債合計	37,297	29,098
固定負債		
長期借入金	55,219	56,808
引当金	290	204
退職給付に係る負債	292	303
その他	8,648	7,849
固定負債合計	64,450	65,165
負債合計	101,748	94,264

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,810	11,810
資本剰余金	—	—
利益剰余金	9,585	13,342
自己株式	△517	△518
株主資本合計	20,878	24,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,919	9,022
為替換算調整勘定	△2,223	△2,237
退職給付に係る調整累計額	4,753	4,455
その他の包括利益累計額合計	11,449	11,240
非支配株主持分	118	127
純資産合計	32,446	36,002
負債純資産合計	134,194	130,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	56,414	67,506
売上原価	45,762	56,979
売上総利益	10,652	10,527
販売費及び一般管理費	5,023	5,473
営業利益	5,628	5,053
営業外収益		
受取利息	26	22
受取配当金	301	303
持分法による投資利益	62	46
為替差益	291	—
その他	91	253
営業外収益合計	774	625
営業外費用		
支払利息	259	275
為替差損	—	90
その他	84	61
営業外費用合計	344	427
経常利益	6,058	5,251
特別利益		
固定資産売却益	33	207
投資有価証券売却益	3	19
その他	3	3
特別利益合計	40	229
特別損失		
固定資産除売却損	52	169
減損損失	14	1,123
その他	—	0
特別損失合計	67	1,293
税金等調整前四半期純利益	6,031	4,187
法人税等	215	417
四半期純利益	5,815	3,770
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,797	3,757

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,815	3,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195	106
繰延ヘッジ損益	7	—
為替換算調整勘定	△10	△13
退職給付に係る調整額	△338	△298
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△2
その他の包括利益合計	△150	△209
四半期包括利益	5,665	3,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,647	3,548
非支配株主に係る四半期包括利益	17	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(顧客との契約から生じる収益(ASC第606号)の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

(親会社へ譲渡した固定資産)

当社は、2017年4月20日に豊川製作所、衣浦製作所、鳴海製作所の工場資産を当社の親会社(東海旅客鉄道株)へ譲渡しました。当該取引は、当社の親会社との取引であり、かつ、譲渡した工場資産は譲渡後も親会社との間で賃貸借契約を締結して当社が従前どおり工場として使用を継続しているため、これら工場資産の土地およびその他の有形固定資産については売買処理を行っておらず、有形固定資産に計上しております。なお、当該取引はファイナンス・リース取引には該当しないため、工場資産の譲渡価額は長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)に計上しております。また、譲渡した工場資産に係る設備投資についてもその他の有形固定資産に計上するとともに、設備投資額の一部を長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)に計上しております。

上記の結果、2019年12月末日における計上額は、土地11,975百万円、その他の有形固定資産5,658百万円(いずれも2019年12月末日の帳簿価額)であり、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の残高は22,242百万円であります。

(セグメント情報)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄道車両 事業	輸送用機器 ・鉄構事業	建設機械 事業	エンジニアリ ング事業				
売上高								
外部顧客への売上高	18,955	15,104	18,603	3,630	120	56,414	—	56,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	106	157	9	42	137	452	△452	—
計	19,061	15,262	18,612	3,673	257	56,867	△452	56,414
セグメント利益	1,245	1,293	3,562	167	37	6,305	△676	5,628

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、レーザ加工機の製造・販売などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、全社費用△685百万円、棚卸資産の調整額△13百万円およびセグメント間取引消去21百万円などが含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄道車両 事業	輸送用機器 ・鉄構事業	建設機械 事業	エンジニアリ ング事業				
売上高								
外部顧客への売上高	30,951	15,713	17,826	2,890	124	67,506	—	67,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	97	54	4	—	99	255	△255	—
計	31,048	15,767	17,831	2,890	223	67,762	△255	67,506
セグメント利益	1,852	474	3,412	67	60	5,867	△813	5,053

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、レーザ加工機の製造・販売などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、全社費用△825百万円、棚卸資産の調整額0百万円およびセグメント間取引消去11百万円などが含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「鉄道車両事業」セグメントにおいて、米国子会社であるNIPPON SHARYO U.S.A., INC.の米国ロシエル工場の資産について、売却見込額を反映した回収可能価額まで減損損失を認識しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,123百万円であります。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

事業区分	前第3四半期連結累計期間 (2018. 4. 1～2018. 12. 31)		当第3四半期連結累計期間 (2019. 4. 1～2019. 12. 31)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
鉄道車両	30,783	45.1	31,346	47.3
輸送用機器・鉄構	16,495	24.2	15,051	22.7
建設機械	16,639	24.4	16,001	24.1
エンジニアリング	4,193	6.1	3,855	5.8
その他	107	0.2	64	0.1
合計	68,220	100.0	66,319	100.0

②受注状況

事業区分	前第3四半期連結累計期間 (2018. 4. 1～2018. 12. 31)		当第3四半期連結累計期間 (2019. 4. 1～2019. 12. 31)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注高	鉄道車両	15,986	30.6	89,014	73.4
	輸送用機器・鉄構	13,241	25.4	9,506	7.8
	建設機械	18,422	35.3	18,496	15.3
	エンジニアリング	4,411	8.5	4,151	3.4
	その他	105	0.2	126	0.1
	合計	52,166	100.0	121,294	100.0
受注残高	鉄道車両	59,797	66.4	106,280	80.6
	輸送用機器・鉄構	24,772	27.5	18,808	14.3
	建設機械	2,368	2.6	3,617	2.7
	エンジニアリング	3,097	3.5	3,128	2.4
	その他	26	0.0	2	0.0
	合計	90,063	100.0	131,837	100.0

(注) 受注残高は、各連結会計期間末における金額であります。

③販売実績

事業区分	前第3四半期連結累計期間 (2018. 4. 1～2018. 12. 31)		当第3四半期連結累計期間 (2019. 4. 1～2019. 12. 31)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
鉄道車両	18,955 (254)	33.6	30,951 (4,529)	45.8
輸送用機器・鉄構	15,104 (-)	26.8	15,713 (-)	23.3
建設機械	18,603 (2,600)	33.0	17,826 (2,168)	26.4
エンジニアリング	3,630 (1)	6.4	2,890 (4)	4.3
その他	120 (-)	0.2	124 (-)	0.2
合計 (うち海外向け売上分)	56,414 (2,857)	100.0 (5.1)	67,506 (6,703)	100.0 (9.9)